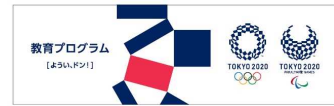


新津第一小学校通信



# もみじ



令和2年9月8日発行  
No.15  
児童数 408人

<http://www.niitsuiti.city-niigata.ed.jp>

## 挨拶は相手に近付き，心を開くこと

校長 田邊裕一

9月に入りましたが，まだまだ暑い日が続きます。暑いと挨拶の声もつい小さくなりがちです。

「挨拶」という言葉の意味を調べると、「挨」…心を開く，「拶」…相手に近付くという意味があるようです。人間関係を築くには，相手に心を開き，自分から相手に近付いていく必要があります。その第一歩が挨拶と言えましょう。

実際，挨拶をしっかりとした上で心を開いて相手に近付いていくと人間関係は円滑に進みます。また，たくさんの友人を作ることができるようになります。

一小では，今年度も挨拶の充実に向けています。元気な挨拶よりも，「さわやかな挨拶」を目指します。大きな声で元気な挨拶もいいのですが，挨拶はコミュニケーションの一つと考えると，相手の気持ちを意識することが大切です。相手が「なんだか気持ちいいなあ」とか「気分がさわやかになったなあ」と感じる事が大切だと思います。一小の子どもたちは，より質の高い挨拶ができると思いますし，それを期待します。

数年前に，次のような記事を目にしました。芸能人として活躍している萩本欽一さんの修業時代の話です。萩本さんが，ある劇場で修行しているとき，演出家から「芸人としての才能がないから辞めさせよう」という話が出たそうです。しかし，「彼の挨拶は快い。また，これほどいい返事をする若者はいない。だから，置いてやってくれ」と萩本さんを擁護する声が上がりました。そして，無事，首が繋がったという事です。

私はさわやかな挨拶ができると，その人の良さが一層引き立つと思うのです。そして，『挨拶』はたった一言ながら，その人の人生を変えてしまう力がある。そんな感じがするのです。

ご家庭でも，地域でも，学校でもさわやかな挨拶が交わせるといいなあと思います。



今年度初めてのもみじグループ(縦割り班)顔合わせ  
「よろしくお願いします！」

# ～「ことばの教室」の紹介～

ことばの教室 担当 小林 正哉

当校には「ことばの教室」「きこえの教室」「まなびの教室」の3つの通級指導教室が設置されており、秋葉区内（きこえの教室は南区・江南区も含む）の学校から、それぞれ決まった時間に子どもたちが通って来ています。その中から、今回は「ことばの教室」について紹介させていただきます。

日本語の正しい発音は、一般的には、小学校低学年までには身に付くと言われていいます。しかし、中には、幼児期に誤った発音の仕方を覚えてしまい、そのまま学齢期になっても継続してしまう場合があります。発音の誤りの中には、自然によくなっていくタイプもありますが、発音の仕方を改めて練習し直さないと改善しにくいタイプもあります。早期に発音の誤りに気付いて練習を開始すれば、ほとんどは小学校のうちに改善していきます。また、発音だけではなく、「言いたいことをうまく言葉にできない」ということがあったり、「話すリズムをうまく調整できない」という場合もあつたりします。それらの改善に向けて個別的な支援を行うのが「ことばの教室」です。

通級指導教室は、正式には教育委員会を通しての入級になりますが、お子さんのことで心配事がありましたら、ご相談は随時お受けしています。学級担任を通じて気軽にお声掛けください。



## 【お知らせ】 新しい職員の紹介

先日、新津第一小学校に新しく学習指導員として、**箱岩 輝 先生**が着任しました。これまで同様、職員一同、子どもたちの活動が充実したものになるよう力を合わせて支援していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## ブログ更新中！！



新津第一小学校のホームページでは、トップ画面において、ブログ形式で子どもたちの学校生活の様子をお伝えしています。学校評価アンケートを受け、今年度は担当を決めて記事の更新に努めています。ぜひご覧ください。